

令和6年2月18日

上志段味学区区政協力委員会（2月定例会）

2月6日（火）に開催された守山区区政協力委員協議会の内容等について、この学区に関係することなどを中心に報告させていただき、情報等の共有を図りたいと思います。その他参考事項も併せて報告します。

Ⅰ 犯罪・交通事故発生状況、消防情報

○ 犯罪の発生状況

自動車盗の被害が相変わらず多く、守山警察署管内にあっては、昨年1年間に45件発生している。「特に、上志段味地区は多発傾向にあり、パトカーなどによる警戒も強化していますが・・・」と個別報告を受けたところです。傾向としては、1月から3月まで、それと12月に集中しており、十分な防止対策が求められています。

何故、上志段味で自動車盗が多いのかについては、警察は、

- ・ 守山区の一番奥で、周りを他の市町村に囲まれている
- ・ 比較的道路が四方に整備されており、逃げやすい
- ・ 多くの住民が転入者であり、隣近所とのつながりが希薄ではないかなどと分析しているようです。

自動車盗被害防止のポイントは、「時間」と「音」です！

なお、自動車関連窃盗に関する有力情報提供者には、最大10万円の報奨金が支払われます。車の近くで不審な動きをしている人物を見かけたら、躊躇なく110番通報を！

○ 交通事故の発生状況

名古屋市内においては、1月18日から2月3日までの間に交通死亡事故が5件発生しています。守山区白山地内では、1月21日午後7時前に、交差点を右折する普通乗用車（60代男性）と直進してくる大型バイク（20代男性）が衝突する事故が発生し、バイクの運転手が亡くなっています。

事故原因の詳細は分かりませんが、いずれにしても、一人ひとりの心掛けが悲惨な交通事故を無くすことに繋がります！

○ 消防情報

1月中、守山区内においては3件の火災が発生しており、うち2件は放火の疑いがあるようです。また、区内の救急出動は939件（1日30件余）となっており、相変わらず救急隊員は多忙を極めているようです。

3月1日（金）から同月7日（木）までの7日間、「春の火災予防運動」が実施されます。

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」（全国統一防火標語）

2 老人クラブの活動支援について

高齢者の生きがい施策を推進するため、老人クラブは様々な活動を行なっています。ただ、全国的な傾向でもありますが、少子高齢化の時代にも係わらず、クラブ数、会員数の減少に歯止めがかからない状況となっているようで、ここ守山区においても、5年前と比べてクラブ数は7割に、また会員数では6割弱まで減少しています。

今回、老人クラブへの加入を呼びかけるチラシを組回覧していただくこととしましたが、会議においては、行政の積極的な関与を求める意見や、そもそも「老人クラブ」の名称そのものが時代遅れのイメージがあり、もっと今様な名前に変更しイメージチェンジを図るべきだとの意見等もありました。

3 コミュニティーセンターにおける指定管理料について

いわゆるコミセンに関することですので、直接上志段味には関係ないものの、参考までに簡単に説明をしておきます。

現在、守山区には21の学区があり、うちコミセン（〇〇会館を含む）が19学区に、コミセンに準ずる施設が1学区、また公民館は上志段味だけとなっています。

コミセンは、土地はそれぞれ地元の所有であるものの、建物は名古屋市の所有物となっているため、建物の維持管理、運営はそれぞれ地元の連絡協議会などに委託をしています。したがって、施設の管理、運営に係る経費などに対しては、名古屋市から委託料等として「指定管理料」あるいは「管理運営補助金」の名目で年間80万円程度の交付を受けています。ただし、公的な施設であるコミセンにあっては、利用基準が厳しく定められています。

今回、議題となったのは、昨今の光熱水費等の値上げに対応するため追加負担を名古屋市が行なうとする内容でした。

会議の席上、私から「上志段味公民館は、確かに自治会所有の土地に自前で公民館を建設し、自主的に管理・運営を行なっているとは言え、公民館を使っでの活動は、他のコミセンと全く変わりがなく、住民のコミュニティーの場として大いに役立っている。ならば、管理・運営に係る経費への何らかの助成があっても良いのでは？」と区役所に質問を投げかけました。

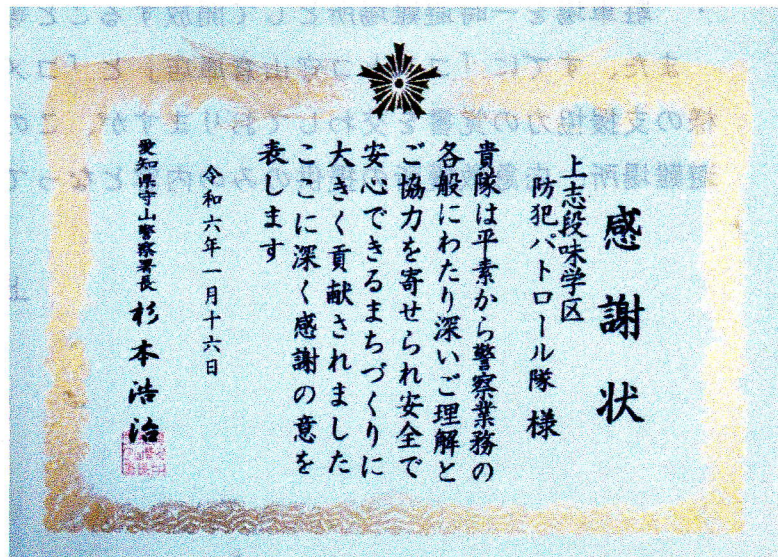
これに対して、「委託といった形態でない以上、現行の制度においてはできません。」との予想通りの返答でした。ただ、この問題は、今後色々な場面で関係してくることもあり、関心を持っていただければと思います。

4 その他

○ 守山警察署より感謝状の受領

上志段味自治会にあっては、青色回転灯を装備した自動車による自主防犯パトロールを実施しております。

この度、こうした長年の活動に対して「安全で安心できるまちづくり」に大きく貢献されたとして、守山警察署より感謝状が贈られました。これを励みとして、なお一層防犯活動に力を入れていこうと決意を新たにしましたところ です。



ただ、上志段味学区の青色防犯パトロール隊は、現在30名ほどの有志で活動していますが、ご多分に漏れず、隊員の3分の2は70歳代の高齢者が占めているため、パトロール当日、健康上の理由などから欠席される場合などもあり、活動にも支障が生じてきているのが現状です。

そこで、皆さんにお願いですが、こうした活動にご理解をいただき協力していただける方を募集しています。運転免許証の保有者であれば、年齢、性別は問いません。また、「午前中ならオーケー」などと言ったご希望も考慮してローテーションを組んでいます。各地区の自治会長にご連絡ください。

活動は、週2回（午前11時から、午後3時から、又は午後7時からの3パターンいずれか）のペースで、原則3名の青パト乗車で学区内を約1時間ほどかけて巡回しており、月に一回程度当番が回ってくる頻度です。

○ 大規模災害時における地域と事業所との支援協力について

見出しの支援協力に関して、株式会社バローと上志段味・志段味東学区防災安心まちづくり委員会との間で、令和6年1月26日、覚書を締結しました。

対象となる店舗は「バロー志段味店」で、支援協力の内容としては、

- ・ 店舗等を一時避難所として提供すること
- ・ 店舗において、被災者に対し、電源、水道水、トイレなどを可能な範囲で提供すること
- ・ 店舗において、被災者に対し、テレビ・ラジオなどで知りえた災害概要の状況を可能な範囲で提供すること
- ・ 駐車場を一時避難場所として開放すること等となっています。

また、すでに「コストコ守山倉庫店」と「コメリ名古屋中志段味店」とも同様の支援協力の覚書を交わしておりますが、この二店舗にあっては、一時的な避難場所、応急救護所の提供のみの内容となっています。

上志段味学区区政協力委員会
委員長 西村